



## 前期後半がはじまりました！

41日間（台風接近による休校がありましたので実質44日間）の夏休みが明け、前期後半がはじまりました。夏休み期間中に命にかかわるような大きな事故等の報告がなく、ほっとしているところです。やっぱり学校は子供たちの元気な声と笑顔が似合います。前期後半が始まるにあたり、休み明け集会で、意識してがんばってほしいことを防災月間と絡めて次の4つについて話しました。

- ① **やりとげる力**：勉強に自分から進んで取り組めるようになること
- ② **協働力**：お友達にやさしくすることができるようになること
- ③ **想いを伝える力**：自分の考えや意見を自信をもって発表できるようになること
- ④ **ふるさとを大切にす力**：明るく気持ちのよいあいさつができるようになること



前期の終了まで26日間となります。まだまだ暑い日が続く、体力を奪われがちですが、7月までのがんばりをしっかり引き継ぎ、後期に向けて前期の教育活動をしっかりとまとめていきたいと思ひます。

## 9月は防災月間です！

夏休みを利用して、孫に会いに仙台（宮城県）に行ってきました。この機会に東日本大震災の被災地を見学したいと思ひ、石巻市まで足を延ばしました。被災当時に比べるとかなり復興が進んでいるようですが、13年たった今でも震災の爪痕は大きく残ったままでした。

震災遺構に残された言葉から私たちが学ぶべきものが多くありましたのでいくつか紹介します。

- ・ **判断力とか、思考力とか表現力って学校教育で求められているが、**そういうものをやっぱり学校教育の中で身に付けていくってことが大事なことはないのかな。あと**地域の人と協力して一緒に作るってこと**ですよ。（教職員）
- ・ 日常的に学校と地域との連携っていろいろな場面になりますよね。**連携を深めていくってのが、いざというときに子どもたちを助けてくれる。**（教職員）
- ・ クラスの中で**授業がしっかりできる、学校が整然と成り立っているのは、日常生活がきちんとしていけばこそ**なんです。実際、東日本大震災のとき素早く整列して避難するときに大いに役に立ったというように思ひます。（教職員）

一つ一つの言葉に重みがあります。熊本地震から8年経ち、記憶も薄れかけているように感じています。いざというときに的確な判断をすることができるよう日々を大切に送っていこうと思ひました。



津波で流された保育園の跡



震災遺構：石巻市立門脇小学校



震災遺構：石巻市立門脇小学校

## PTA除草作業お世話になりました

8月24日（日）、早朝6時30分からのPTA除草作業たいへんお世話になりました。学校周辺の伸びきった草をすべて刈り取ってくださったり、運動場の根がはった草を抜いてくださったり、通学路に茂った雑草を刈ってくださったり、職員や子供たちだけではなかなか手に負えない作業をしてくださったのでとても助かりました。



子供たちも学級花壇の草取りをがんばってくれましたので、きれいに整った環境で学校を再開することができました。夏休み最後の貴重な日曜日の朝でしたが、本当にたくさんの方が協力して下さり、小野部田小学校のPTAのまとまりの強さを改めて感じました。